



通信 創刊号

「福島の子どもたちとつながる宇部の会」会報

代表あいさつ

サポーター・会員そして様々な形で支援くださった市民の皆様と、復興支援うべに対し、先ずもって会を代表して心より感謝いたします。

3・11東日本大震災と原発事故以降、私達は皆今までの生活・社会のあり方の代償を、子どもたちに背負わせてしまいました。その罪悪感から何かできることをしなければと、支援の手の届きにくい自閉症児を対象に「夏休みの1週間の受入れ」を始めに被災家族とつながってきました。

その縁で長期の避難家族の受入れも決まり準備に入っております。その意味でも私達の活動は、息の長い生活支援へとシフト継続することとなりました。

今後とも変わらぬ当会への御支援と、つながった子どもたちの幸せをともに考えていただけますようお願いいたします。

代表 木下文雄



〈7・8月の活動報告〉

- ★ 7/2. 宇部日報よりボランティア募集開始
- ★ 7/11. 久保田后子宇部市長より復興支援うべのプラン
“夢プロジェクト”「がんばっぺ! B」として、7/31~8/7 夏の合宿
プランが発表される。(詳しくは以降のページをご覧ください。)
- ★ 7/16. スタッフ・ボランティア対象研修会開催。
- ★ 7/23. 土曜夜市に、資金集めと宣伝・募金活動を兼ねてバザー出店。
- ★ 7/30. 榎野川まつりに、 同上。
- ★ 7/31~8/7. 「がんばっぺ! B」として福島を7家族(20名)
受け入れる。
- ★ 以上他、会議・準備作業等を不定期に10回開催【注、7・8月分】



《子ども夏休み “夢プロジェクト”》

★7月31日（日）第1日目

17時37分、新幹線のぞみで新山口駅に到着。手作りの歓迎ボードでお出迎え！
初日はココランドに宿泊です。

ココランドでは歓迎会&顔合わせ会があり、福島からの7家族20人と
ボランティア24名が参加しました。

ココランドさんからはお土産のサプライズもありました！



★8月1日（月）第2日目

午前中はココランドのプールで、付き添いボランティア
（自閉症児1名につき2名以上）と一緒にあそびました。



午後からはこれからの宿泊先、アクトビレッジ小野へ移動。

野外でソーメン流しとバーベキューの夕食。

夕食後はお楽しみ会。万倉黒五郎にお住まいの村川博司さんと
その仲間によるアフリカ太鼓の演奏がありました。

★8月2日（火）第3日目

午前中はこぐま保育園・山の園舎（山陽小野田市有帆）へ。

自然いっぱいの園舎で福島では外遊びが出来ない子どもたちも、のびのびと
遊ぶことが出来ました。

こぐま保育園さんにつくって頂いた昼食後、楠こもれびの郷へ移動。

子どもたちは売られていた野菜をみて「ここの野菜は放射能がない。」

と話していました。夜は万倉ふれあいセンターからアクトビレッジおのへ。

ママさん劇団「ぴよぴよ隊」による

パネルシアターで盛り上がりました。

パネルシアターの後は、かき氷。志願した子ども店長さん

2人による「アクトビレッジ」ならぬ「アイスビレッジ」

は大盛況でした！



★8月3日（水）第4日目

子どもたちはボランティアと一緒に、川上小学校で

開催される障がい児を対象とした「おひさまクラブ」に特別参加。

この日は希望されたお母さんたちは、子どもたちと別行動。阿知須の村田温灸所の村田さんのご好意のマッサージや、フジグラン宇部で十何年ぶりかの映画、喫茶店でのコーヒーを楽しみました。

夕食には小野の子どもたちも加わって交流会。石釜ピザに初めて食べる瓦そば。「アイスビレッジ」も開店して大人気でした。



夜のお楽しみ会は阿野正義さんによるマジックショー。Kくんも得意の手品を披露してくれました。その後、広島友好さんによる読み聞かせ花火大会と盛りだくさんでした。

★8月4日（木）第5日目

午前中は再びこぐま山の保育園で、思いっきり外遊び。午後からはこもれびの郷へ。夜は「アクトビレッジおの」のハーブ園を管理されている「サウスバーム」さんによるハーブティーとハーブ石鹸作りを体験しました。昨日に引き続き村田さんによるマッサージも。



★8月5日（金）第6日目



この日はボランティアさんと一緒に山口県内の小旅行でした。秋芳洞、秋吉台門司港レトロ最後に関門海峡を一望できる火の山公園へ。夜はフリータイムでゆっくり過ごしました。

★8月6日（土）第7日目

事前アンケートにS君とK君はSLが大好きとありました。SLのよく見える場所で待っていると、運転手さんも汽笛を鳴らして大サービス。その後は小野田サンパークでショッピングを楽しみました。

そして最後の夜、宇部市福祉会館で「また会おう会」（送別会）が開かれました。



★8月7日（日）最終日

いよいよ山口ともお別れ。多くのボランティアが新山口駅でなごりを惜しみながらお見送りしました。



滞在中は毎晩、注意事項と翌日のスケジュールを確認後、お母さん方との語らいや 打ち合わせを行い、細かな調整をしていきました。

希望者には宇部フロンティア大学の酒木・西村両教授のカウンセリングもありました。

たった6名からスタートしたプロジェクト、最終的には会員 43 名 サポーター72名 学生ボランティア 33名、一般ボランティア 17名で総勢 165名に！

今もスタッフの心には、「T君の「山口の宇部に僕たちの味方がいた。」という言葉が印象深く残っています。

また、今回のご縁から宇部市への移住や長期滞在を希望されているご家族もあります。

会ではさらに支援を続けていきますので、皆さまこれからもご協力をよろしくお願い致します！

* インターネットを見られる方は「子ども夏休み夢プロジェクトがんばっぺ！ B」で検索してみてください。さらに詳しい内容が載っています。

「福島の子どもたちとつながる宇部の会」あゆみ

日付	事象
2011年3月11日	東日本大震災が起こりマグニチュード（Mw）9.0という強大な揺れと大津波により東北地方が未曾有の被害を被る。
2011年3月24日	第1回準備会。木下夫妻、武永、橋本、浜本、西村の6名、ひびきの森に集まり、福島の被災した障害児家族対象の支援として一年間の疎開プロジェクトを発案。直ぐに福島の自閉症協会と連絡をとる。
2011年3月30日	第2回準備会。24日の6名に永山、松原、安藤、今井、峰重の5名が加わり11名で移住についての条件等、情報交換を行う。
2011年4月6日	第1回会議「福島の子どもとつながる宇部の会」の名称と役員を決定し福島の家族に送る為のメンバーからのメッセージの原稿を集める。
2011年4月15日	出席者12名にて第2回会議を、宇部市役所第3会議室にて行う。
2011年4月13日	出席者10名にて第3回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。住み慣れた地元を離れたくないという感じが受け取られた為「夏休みの受け入れ合宿」という案が浮上。
2011年4月22・23日	木下代表郡山市へ訪問。
2011年4月27日	出席者9名にて第4回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。木下代表の郡山入りでの聞き取りにより、当面は「夏休みの合宿」方向に決定、この回より議事録を福島へ送り始める。
2011年5月19日	出席者6名にて第5回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。往復のバス代や宿泊費用の試算に入り、予算上ホームステイ案もあがる。資金集めのため、サポーター募集のチラシ作りにかかる。
2011年5月25日	出席者10名にて第6回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。移動距離（時間）や予算の関係により、新幹線・アクトビレッジ利用案件があがる。募金箱作りの案にも入る。

2011年6月1日	下関郵便局にて、募金及び啓発活動を行う（2名）。出席者11名にて第7回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。資金作りの為、共同募金の助成申請を決定。募金箱と申請書類作りの準備に入る。
2011年6月6日	出席者11名にて第8回会議をひびきの森にて行う。募金箱と共同募金助成申請書類作成。
2011年6月22日	出席者15名にて第9回会議をシルバーふれあいセンター3階第4講義室にて行う。参加者アンケート作製にかかる。
2011年6月26日	「夏の合宿」の宿泊・見学施設の写真撮影等、下見を行う。
2011年6月29日	出席者15名にて第10回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。自閉症についての簡単な勉強会、宿泊施設・現サポーターの確認、ボランティア募集について話し合う。医療スタッフとして西川医院に依頼。近隣大学・高校にボランティア依頼をかける。
2011年7月2日	宇部日報で「夏休み合宿」についての記者会見を行い、会員・サポーターの募集を行う。
2011年7月6日	出席者17名にて第11回会議を、宇部市役所第2会議室にて行う。「夏の合宿」の大まかな日程決定。スタッフ各自チラシを持ち帰りボランティア募集にかかる。
2011年7月9日	アンケート発送。（13～22日の間に返信が届く。）
2011年7月11日	宇部市長より、この会の「夏の合宿」を復興支援うべ主催の被災地の子ども夏休み”夢プロジェクト”「がんばっぺ！B」企画として記者発表される。これにより新幹線往復代金と活動費10万円の復興支援うべからの助成が決まる。
2011年7月13日	出席者13名にて第12回会議を、宇部市役所第3会議室にて行う。16日の研修会内容及び協力ボランティア確認。
2011年7月16日	講師を迎え昼・夜の2部構成でDVD等をからめ、スタッフ・ボランティア対象に自閉症についての理解を深めるための、研修会を宇部総合福祉会館にて開催。

2011年7月20日	出席者26名にて第13回会議を宇部市役所第3会議室にて行う。 スケジュール確認、子供達と関わりを持つ・炊事・事務班に分かれ それぞれの打ち合わせ・準備に取りかかる。
2011年7月23日	花火大会・土曜夜市にてバザー&募金活動。
2011年7月27日	出席者26名にて第9回会議を、宇部市役所第3会議室にて行う。 「がんばっぺ! B」各班、準備・打ち合わせ後、全体最終打ち合わせ。
2011年7月30日	木下代表夫妻が受け入れのため福島へ。榎野川花火大会「夏祭り」出店。 共同募金からの助成は受けられず。
2011年7月31日	福島の家族が山口県宇部入り「がんばっぺB」始動。 ココランドにて歓迎会を行い、福島の家族はそのまま宿泊。
2011年8月1 ~5日	各日程を過ごしながらアクトビレッジにて連泊。
2011年8月6日	宇部市長・サポーターを迎え「また会おうパーティー」開催。 最終日の宿泊はココランドとホームステイにて手配。
2011年8月7日	福島の家族、宇部での日程を終え帰路等に着かれる。
2011年8月9日	出席者19名にて第14回会議をシルバーふれあいセンター3階第1講座室 にて行い、「がんばっぺ! B」反省会と今後の活動について話をする。



〈 お礼 〉

皆様のサポーター会費及び、募金により 837,526 円集まり、「復興支援うべ」よりの助成 100,000 円とバザー収入が 42,010 円あり、H23. 8. 10 活動分までの資金合計は 979,536 円となりました。ありがとうございます！

今回の「がんばっぺ! B」では 820,966 円かかりましたが、おかげ様をもちまして無事終える事が出来ました。残った金額についてですが、今後は短～長期に及び疎開家族への支援等に使用させて頂くよう計画しております。

今後もバザー・募金等、活動資金集めを続けて行く事となりますので、引き続き御支援頂けますよう宜しくお願い申し上げます。



〈これからの予定〉

- ★ 短～長期の疎開を希望されているご家族の支援を続けていきます。
- ★ 10月中にも来宇部される2家族のための住居、学校等の候補を早急に絞っています。
- ★ 地縁の少ない場所での生活を、物心共に支える会員・サポーターをさらに募っていきます。
- ★ フリーマーケットや学園祭等に参加し、活動の広報や資金集めを行います。
- ★ 募金活動も継続して行っています。

10月29・30日（土・日）
宇部フロンティア大学
魁祭にて出店と展示をします。

11月6日（日）
宇部まつり
新天町アーケードにて
出店します。



編集後記

東日本大震災が起き、この会が発足して早半年が経とうとしています。皆さまにおかれましては、この会にご理解・ご賛同を頂き各方面より支えて下さり誠にありがとうございます。やっとのことで会報創刊号を作成し、ご報告が出来ることかかないです。まだまだ未熟で不足な所などあると思われませんが、今後も「福島の子どもたちとつながる宇部の会」のご理解を深めていただく為、発行していく所存ですのでよろしくお願い致します。【会報係より】

お申し込み・お問い合わせは下記連絡先へ。
NPO 法人 うべネットワーク宇部市民活動センター「青空」
〒755-0029 宇部市新天町1丁目2番36号
TEL (0836) 36-9555 FAX (0836) 39-2272
E-MAIL mail@ubenet.com
「福島の子どもたちとつながる宇部の会」
代表 木下文雄 事務局 武永佳子

